

青森県内のスリップ事故について（令和3年1月～3月）

交 通 部
交 通 企 画 課

令和3年1月から3月までの間に青森県内でスリップ事故として集計された交通人身事故は

- **朝の出勤時間帯（午前7時～8時台）に多発（25.8%）**
- **「追突」事故が最も多い（58.2%）**

などの特徴がありました。

冬道を運転する際は

- 1 夏場に比べて**1割以上スピードを減速**してゆっくり走る
- 2 車間距離は路面乾燥時に比べて**2倍以上の間隔**を確保する
- 3 朝の出勤時間帯はいつもより**3分以上早めに出発**して心にゆとりを持つ
- 4 急ブレーキや急ハンドルなど、**急のつく動作**を控える

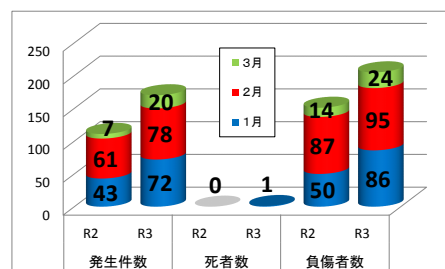
ことを心がけましょう。



1 スリップ事故発生状況

	R2年				合計	R3年				合計
	1月	2月	3月			1月	2月	3月		
発生件数	218	241	198		657	215	212	184		611
うちスリップあり	43	61	7		111	72	78	20		170
死者数	0	1	5		6	2	0	1		3
うちスリップあり	0	0	0		0	1	0	0		1
負傷者数	264	311	242		817	259	255	220		734
うちスリップあり	50	87	14		151	86	95	24		205

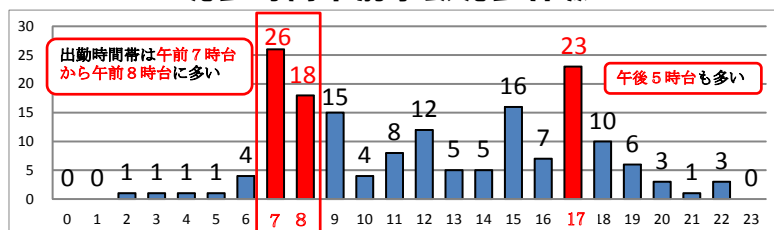
～スリップ事故の発生状況～



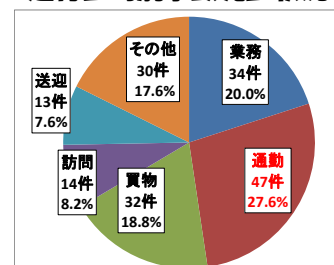
2 時間帯別スリップ事故発生件数（R3年1月～3月）

スリップ事故を時間帯別にみると、出勤時間帯となる午前7時台から午前8時台、及び午後5時台の発生が多く、出勤時間帯に発生した事故は、全スリップ事故170件のうち44件（25.8%）を占める。また、通行目的別では通勤が最も多い。

～発生時間帯別事故発生件数～



～通行目的別事故発生状況～

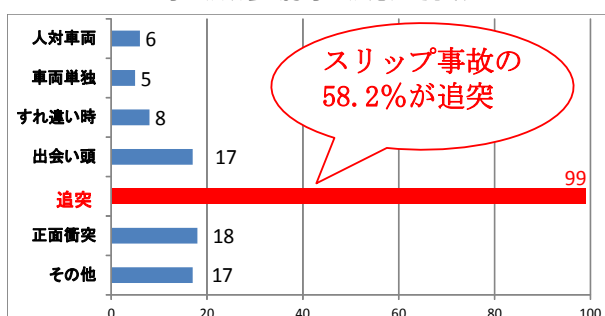


3 事故類型別スリップ事故発生件数（R3年1月～3月）

スリップ事故を事故類型別にみると、「追突」が最も多く、170件中99件（58.2%）を占め、次いで「正面衝突」が18件（10.6%）発生している。

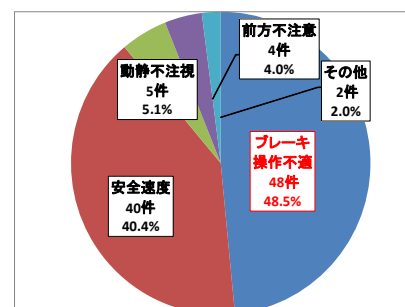
また、「追突」を違反別にみると「ブレーキ操作不適」が最も多く、99件中48件（48.5%）を占め、次いで「安全速度」が40件（40.4%）発生している。

～事故類型別事故発生件数～



スリップによる
追突事故のうち

～スリップによる追突事故～



1割以上のスピードダウン、2倍以上の車間距離、3分以上早めの出発を！